

学級活動

○ 生徒会活動

学校行事

### 令和7年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立三次中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「 学校レクリエーション 」		

#### ◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
○様々な小学校の出身の生徒がおり、相互理解が浅いところがある。人間関係が希薄なところから生徒間トラブルが発生している。	○自分に自信を持ち、仲間を尊重し、積極的に他に貢献しようとする生徒（教育目標より）



#### ◆ 取組の具体的内容

##### 取組を実施する意図及びねらい

- 縦割り班での活動を通して仲間のよさを発見し、お互いに認め合える人間関係を構築する。
- 縦割り班での活動の中で、それぞれの役割に責任を持って行い、責任感を身につけさせる。特に3年生にリーダーとして自覚を持たせ、リーダーシップを養う。

##### 取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等

###### <学級・体育委員会の取組>

- ・委員会に所属している生徒の責任感をもたせることを意図して、チームを縦割りで組むように仕組んだ。また生徒にメンバーを考えさせ、運動が得意な生徒とそうでない生徒のバランス等考慮してチームの編成をするように話をした。生徒は真剣な様子で人間関係等考えながら活動した。

###### <学校レクリエーション>

- ・生徒主体な活動にすることを意図して、生徒に司会原稿の作成や会の進行に携わらせることで、成長がみられた。【自己決定の場の提供】

###### <振り返り>

- ・異年齢集団での交流についての振り返りの場面では、生徒から「普段話さない人の意外な場面が見ることができた」や「スポーツすることでコミュニケーションをとることができた」と反応があり、新たな人間関係を生むなどの成長がみられた。【安全・安心な風土の醸成】



#### ◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

- 事後の指導にも書いた通り、新たな人間関係が育まれるなど絆づくりにおいて効果的な授業の展開をすることができた。また、お互いのことを知りあうことで、中学校が安全・安心な「居場所」にまた一歩近づくことができた。
- 競技に勝つことが第一になってしまった生徒もいるので、競技内容を熟考したり、スポーツ以外のアクティビティを生徒と考えたりして、ねらいを達成させる必要がある。